

- 28 公共事業労働費調査に対する協力 (1.6.2、3)
- 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労働費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。
- 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
 - 調査票等を提出した事業所が発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
 - 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
 - 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

- 29 建設発生土の処理 [3.2.5]
- 場内指定場所へ搬出し、搬出後、監督職員へ搬出先の入受を証明する資料を提出する。
 - 搬出場所 ()
 - 搬入条件 ()
 - 仮置き場 ()
 - 土壌汚染のおそれ ()
 - 分析調査 ()
 - 調査対象 ()
 - 場内指定場所に敷き均し ()
 - 場内指定場所に堆積 ()
- ※場外搬出処分の場合は、第11章の1による

2章 仮設工事 (2.1.3) (2.2.1) (表2.2.1)

- 1 足場その他 (2.1.3) (2.2.1) (表2.2.1)
- 内部足場の種別 ()
- 外部足場の種別 ()
- 手すり先行足場の設置 ()
- 工事で設置する足場については、標準仕様書2.2.4(b)によるほか、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立てや解体等の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり搬置き方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971(屋根工事用足場及び施工方法)に基づき、建方作業台や墜落防護さく等を設置する。
- 外部足場の防護シートによる養生
 - 養生ネット
 - 養生シート (I類、II類)
 - ネット養生シート (I類、II類)
 - 騒音・粉じん等の対策
 - 防音シート
 - 防音バネ
 - 設置範囲

- 2 材料、撤去材等の運搬 (2.2.1) (表2.2.1)
- 種別 ()
- C種 ()
- D種 ()

- 3 既存部分の養生 (2.3.1)
- 既存部分の養生方法 ()
 - 既存家具、既存設備等の養生方法 ()
 - 工事用通路の養生方法 ()
 - 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ()
 - 既存アライド、キアラ等の養生 ()
- 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

- 4 仮設間仕切り (2.3.2)
- 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ()
- 仮設間仕切りの種別と材質等 ()
- | 種別 | 仕上げ(厚さmm) | 塗装 | 充填 |
|----|---------------------|----------|-------------------|
| A種 | セッコウボード
種類
厚さ | 無し
片面 | グラスウール32K厚さ50mm以上 |
| B種 | 合板
種類
厚さ | 無し
片面 | |
| C種 | 防炎シート | | |
- 仮設間仕切りに設ける扉の材質等 ()
- | 材質 | 仕上げ | 塗装 | 設置箇所 |
|-----|---------|----------|------|
| ※木製 | ※合板張り程度 | 無し
片面 | 箇所 |

- 5 監督職員事務所 (2.4.1)
- 規模、仕様 ()
- 備品等 (標準仕様書によるほか下記による)
- 机
 - 椅子
 - ゴム長靴
 - 雨がっぱ
 - 保安帽
 - 墜落制止用器具
 - 更衣ロッカー
 - 以上は監督職員 1人分
 - 書籍
 - 白板
 - 排時計
 - 寒暖計
 - 懐中電灯
 - 受注者加入電話の子機
 - 消火器
 - 冷暖房機器
 - パソコン (インターネット接続)
 - 以上は各1ヶ

- 6 監理事務所 (2.4.1)
- 規模、仕様 ()
- 備品等 ()
- 机
 - 椅子
 - ゴム長靴
 - 雨がっぱ
 - 保安帽
 - 墜落制止用器具
 - 更衣ロッカー
 - 以上は 1人分
 - 書籍
 - 白板
 - 排時計
 - 寒暖計
 - 懐中電灯
 - 受注者加入電話の子機
 - 消火器
 - 冷暖房機器
 - パソコン (インターネット接続)
 - 以上は各1ヶ

- 7 工事用水
- 構内既存の施設 ()
- 利用できない ()
 - 利用できる ()

- 8 工事用電力
- 構内既存の施設 ()
- 利用できない ()
 - 利用できる ()

- 3章 防水改修工事 (1.6.2、3)
- 1 施工数量調査 ()
- 調査範囲 ()
- 調査方法 ()
- 調査報告書 ()

- 2 降雨等に対する養生方法(と共) (3.1.3)
- ※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(9)による ()

- 3 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3、4、6)
- 既存保護層の撤去 ()
 - 既存防水層の撤去 ()
 - 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除く ()

- 4 既存下地の処理 (3.2.6)
- 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ()
- POS工法及びPPOS工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非敷敷とした立上り部等の処理 ()
- 設備機器架台、配管受部、バルブ、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ()

- 5 試験 ()
- 施工完了後の漏水試験 ()

6 アスファルト防水 (3.3.2~5)

改修工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁用シート
P2A	A-1	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	※ポリエチレンフォーム 厚さ0.15mm以上 又はフラットケナックス 70kg/m ² 程度
	A-2			
	A-3			
PIB	B-1	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	
	B-2			
	B-3			
P2AI	AI-1	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	※フラットケナックス70g/m ² 程度
	AI-2			
	AI-3			
PIBI	BI-1	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	
	BI-2			

- 改質アスファルト樹脂フィングシートの種類及び厚さ ()
- 標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ()
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ ()
- 用途による区分 ()
- 材料による区分 ()
- 厚さ () mm以上
- 部分粘着層付改質アスファルト樹脂フィングシートの種類及び厚さ ()
- 標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ()
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ ()
- 用途による区分 ()
- 材料による区分 ()
- 厚さ () mm以上
- 平場の保護コンクリートの厚さ ()
- 床仕上げ ()
- 床タイバ張り ()
- 水下60mm以上 ()

- 立上り部の保護工法 ()
- 乾式保護材 (品質、性能、試験方法) 建築材料等品質性能表による
 - 営業系[※] 4 I類 (厚さ (mm) 幅 (mm))
 - れんが押え (JIS R 1250)
 - コンクリート押え
 - モルタル押え(屋内)

屋根露出防水

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[G]	備考
M4C	C-1 C-2 C-3 C-4	図示	(種類) アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による	アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による		
				アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による		
				アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による		
				アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による		
M3D POD	D-1 D-2	図示	(種類) アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による	アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
				アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による		
PODI N3DI N4DI	DI-1 DI-2	図示	(種類) アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による (厚さ)	アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
				アスファルト樹脂 フィングシート類の製造 所の仕様による		

- 改質アスファルト樹脂フィングシートの種類及び厚さ ()
- 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ()
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ ()
- 用途による区分 ()
- 材料による区分 ()
- 厚さ () mm以上
- 部分粘着層付改質アスファルト樹脂フィングシートの種類及び厚さ ()
- 標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ()
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ ()
- 用途による区分 ()
- 材料による区分 ()
- 厚さ () mm以上
- 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 ()
- 種類 ()
- 脱気装置 ()
- 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、パイプ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ()

屋内防水

工法	種別	施工箇所	保護層
PIE P2E	E-1 E-2	図示	設ける ()
			設けない ()

E-1の工程3を行う部位 ()

押え金物の材質、形状及び寸法 ()

屋上排水溝 ()

- 7 改質アスファルトシート防水 (3.4.2、3)
- 屋根露出防水(既存)
- 新設防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用[G]	備考
				種類	使用量		
M4AS	AS-T1 AS-T2 AS-J2	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		
				改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		
				改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		
M3AS	AS-T3 AS-T4 AS-J1	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
				改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		
				改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		
POAS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
				改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		
				改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		
M3ASI	ASI-T1 ASI-J1	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない
				改質アスファルト シート製造所の仕様による	改質アスファルト シート製造所の仕様による		

- 改質アスファルト樹脂フィングシートの種類及び厚さ ()
- 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ()
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ ()
- 用途による区分 ()
- 材料による区分 ()
- 厚さ () mm以上

- 粘着層付改質アスファルト樹脂フィングシートの種類及び厚さ ()
- 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ()
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ ()
- 用途による区分 ()
- 材料による区分 ()
- 厚さ () mm以上

- 部分粘着層付改質アスファルト樹脂フィングシートの種類及び厚さ ()
- 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ()
- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ ()
- 用途による区分 ()
- 材料による区分 ()
- 厚さ () mm以上
- 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ()
- 7mm未満製 L-30×15×2.0mm程度 ()

- 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 ()
- 種類 ()
- 設置数量 ()
- 絶縁断熱工法の防湿用シート ()

8 合成高分子ルーフィング防水 (3.5.2~4) (表3.5.1~3)

新設防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用[G]	備考
				種類	使用量		
POS	S-F1	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	ルーフィングシート 製造所の仕様による	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
				ルーフィングシート 製造所の仕様による	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	
S4S	S-F2 S-M1	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	ルーフィングシート 製造所の仕様による	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
				ルーフィングシート 製造所の仕様による	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	
SSS	S-F1	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	ルーフィングシート 製造所の仕様による	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	脱気装置 ・設ける ・設けない
				ルーフィングシート 製造所の仕様による	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	
MAS	S-M1 S-F2	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	ルーフィングシート 製造所の仕様による	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	脱気装置 ・設ける ・設けない
				ルーフィングシート 製造所の仕様による	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	
SSSI	SI-F1 SI-F2	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	改修標準仕様書 3.5.2(3)(a)(b) (種類) ・(厚さ) ・25mm ・50mm	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
				ルーフィングシート 製造所の仕様による	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	
SI-M1	SI-M1	図示	(種類) JISA9521に基づく押出法ダリソフ フォーム断熱材3種ba(※厚付き) (厚さ)	改修標準仕様書 3.5.2(3)(a) (種類) ・(厚さ) ・25mm ・50mm	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	脱気装置 ・設ける ・設けない
				ルーフィングシート 製造所の仕様による	ルーフィングシート 製造所の仕様による	適用 する	

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ()

S-M1及びSI-M2の場合の防湿用フィルム ()

屋内防水

種別	施工箇所	保護層	
		平場の仕上げ	立上がり部の保護
S-C1	図示		7mm以下
PIIS	図示		

- 床塗りの場合の床の目地 ()
- 目地割り ()
- 目地の種別 ()
- ルーフィングシートの種類及び厚さ ()
- 改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ()
- JIS A 6008に基づく種類及び厚さ ()
- 種類 ()
- 厚さ () mm以上
- 絶縁用シート ()
- 固定金具の材質及び寸法形状 ()
- 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの ()
- 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 ()
- 種類 ()
- 設置数量 ()
- 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ()
- 図示による ()
- プレキャストコンクリート部材の隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合) ()
- 行う ()
- 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け ()
- 1章 適用区分による風圧力の () 倍の風圧力に対応した工法

9 塗膜防水 (3.6.2、3)

新設防水層の種類

工法	種別	施工箇所	仕上げ塗料		高日射反射率防水の適用[G]	備考
			種類	使用量		
POX	X-1 X-2 X-1H X-2H	図示	製造所の仕様による	製造所の仕様による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
			製造所の仕様による	製造所の仕様による		
			製造所の仕様による	製造所の仕様による		
L4X	X-1 X-2 X-1H X-2H	図示	製造所の仕様による	製造所の仕様による		脱気装置 ・設ける ・設けない
			製造所の仕様による	製造所の仕様による		
			製造所の仕様による	製造所の仕様による		

- ウレタン系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 ()
- 種類 ()
- 設置数量 ()

工法	種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
PIY	Y-2	図示		設ける ・設けない
PZY	Y-2	図示		設ける ・設けない

- 10 シーリング (3.1.4) (3.7.2~8)
- シーリング 改修工法の種類
- ・シーリング 充填工法
 - ・シーリング 再充填工法
 - ・拡幅シーリング 再充填工法
 - ・アラジック 工法
 - ・ボンドブレイカー 張り
 - ・エッジング 材張り

シーリング材の種類、施工箇所
下記以外は(表3.7.1)による

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

- 仕上げを行わない施工箇所
シーリング材の目地寸法
- ・ 図示による
 - ・ 改修標準仕様書3.7.3(1)による
 - ・ 図示による

- 目地寸法
- 打継ぎ目地
- ・ 幅 mm × 深さ mm 以上
- ひび割れ誘発目地
- ・ 幅 mm × 深さ mm 以上
- かぶり回り目地
- ・ 幅 mm × 深さ mm 以上
- その他の箇所
- ・ 幅 mm × 深さ mm 以上
- 目地位置
- ・ 図示

- シーリング材の試験
- ・ 簡易接着性試験
 - ・ 引張接着性試験

- 11 とい (3.8.2、3) (表3.8.1)
- といその他の材種
- ・ 配管用鋼管
 - ・ 硬質ポリ塩化ビニル管
 - ・ フレキシブル管
 - ・ 表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類)
- とい受金物
- 材種
- ・ 改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

- 形状
- ・ 市販品(とい径100以下)
 - ・ 25mm以上(とい径100を超えるもの)
- 取付け間隔
- ・ 改修標準仕様書3.8.2による
- 足金物
- 材種
- ・ 改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

- 形状
- ・ 市販品
- 取付け間隔
- ・ 改修標準仕様書3.8.2による

- ・ 多雪地域の適用
 - ・ 防露材の設置方法 放散量
 - ・ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
 - ・ 鋼管製といの防露巻き
- ルーフトレンの種類及び呼び

種類	呼び	施工箇所
・ 広く屋根用たて形 I 型	ねじ込み式 80 × 100 × 125 × 150	
・ 広く屋根用横形 I 型	ねじ込み式 80 × 100 × 125 × 150	
・ ハルニー中継用	ねじ込み式 50 × 80 × 100	
	差し込み式 50 × 75 × 100	
	ねじ込み式 50 × 80 × 100	
	差し込み式 50 × 75 × 100	

- たてどい受金物の取付け
- ・ 図示による
- ルーフトレンの取付け
- ・ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

- 12 アルミニウム製笠木 (3.9.2、3)
- 種類
- ・ ナゲ形式
 - ・ ナゲ形式
 - ・ ナゲ形式
 - ・ ナゲ形式
- 表面処理
- ・ 種別
 - ・ 色合等
 - ・ 標準色
 - ・ 特注色
- ・ 既存笠木等の撤去
- ・ 下地補修の工法
- ・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法
- ・ 笠木の固定金具の工法等
- 1章 適用区分による風圧力の (1 1.15 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

4章 外壁改修工事(共通事項・材料) (1.6.2、3)

- 1 施工数量調査 (1.6.2、3)
- 調査範囲
- ・ 外壁改修範囲
 - ・ 図示の範囲
- 調査内容(調査内容は壁面へ表示する)
- ひび割れ
- ひび割れの幅(0.2mm未満、0.2~0.3mm未満、0.3~0.5mm未満、0.5~1.0mm未満、1.0mm以上)及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無、及び錆汁の流出の有無を調査する。
- 浮き
- 塗膜の剥離、剥落
- コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。
- 塗り仕上げ
- コンクリートまたは塗膜表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
- 既存部分の破壊を行った場合の補修方法
- ・ 図示
- 調査報告書の部数
- ・ 1部
- 報告書の内容
- ・ 調査者(氏名、資格等)
 - ・ 調査日、調査結果一覧表、図面、写真等

4-1章 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁改修) (4.1.4)(4.2.4~8)

- 1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.4~8)
- ・ 樹脂注入工法(ひび割れ幅0.2以上~1.0mm以下の場合に適用)
- | 工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 注入口間隔(mm) | 注入量(ml/m) |
|-----------------|-------------|-----------|-----------|
| ・ 自動式低圧球 樹脂注入工法 | 0.2以上~1.0以下 | 200~300 | 130 |
| ・ 手動式球 樹脂注入工法 | 0.2以上~0.3未満 | 50~100 | 40 |
| ・ 機械式球 樹脂注入工法 | 0.3以上~0.5未満 | 100~200 | 70 |
| | 0.5以上~1.0以下 | 150~250 | 130 |
- 注入状況の確認方法
- ・ 抜き取りを行う
 - ・ 抜き取り箇所
 - ・ 抜き取り部の補修方法

- ・ Uレジン材充填工法(ひび割れ幅1.0mm超の場合に適用)
- ・ シーリング材 充填材料の種類
- ・ シーリング材のうえにボンドの充填
- ・ 可とう性球 樹脂
- ・ シール工法(ひび割れ幅0.2mm未満の場合に適用)
- ・ パテ状球 樹脂
- ・ 可とう性球 樹脂

- 2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.4、7)
- ・ 鉄筋等の防錆処理 処理方法
 - ・ 充填工法

4-2章 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)

- 1 既存モルタル塗りの撤去 (4.1.4)(4.3.5~8)
- ・ 行う
- 撤去後の処理
- ・ 「4-1.1ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。

- 2 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.3.5~8)
- ・ 既存モルタル塗りの撤去 範囲

- ・ 樹脂注入工法
- | 工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 注入口間隔(mm) | 注入量(ml/m) |
|-----------------|-------------|-----------|-----------|
| ・ 自動式低圧球 樹脂注入工法 | 0.2以上~1.0以下 | 200~300 | 130 |
| ・ 手動式球 樹脂注入工法 | 0.2以上~0.3未満 | 50~100 | 40 |
| ・ 機械式球 樹脂注入工法 | 0.3以上~0.5未満 | 100~200 | 70 |
| | 0.5以上~1.0以下 | 150~250 | 130 |
- 注入状況の確認方法
- ・ 抜き取りを行う
 - ・ 抜き取り箇所
 - ・ 抜き取り部の補修方法

- ・ Uレジン材充填工法(ひび割れ幅1.0mm超の場合に適用)
- ・ シーリング材 充填材料の種類
- ・ シーリング材のうえにボンドの充填
- ・ 可とう性球 樹脂
- ・ シール工法(ひび割れ幅0.2mm未満の場合に適用)
- ・ パテ状球 樹脂
- ・ 可とう性球 樹脂

- 3 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.9、10)
- ・ 鉄筋等の防錆処理 処理方法
 - ・ 充填工法
 - ・ 塗り替え工法
 - ・ 現場調査材料(セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)
 - ・ 既調合材料
 - ・ 既製目地材
 - ・ 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理

4 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.3.11~16)

工法の種類	フオーブンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・ フォーブニング 部分球 樹脂注入工法	16	25	12	20	25
・ フォーブニング 全面球 樹脂注入工法	13	20	12	20	25
・ フォーブニング 全面球 樹脂注入工法	13	20	12	20	50
・ 注入口付フォーブニング 部分球 樹脂注入工法	9	16	9	16	25
・ 注入口付フォーブニング 全面球 樹脂注入工法	9	16	9	16	25
・ 注入口付フォーブニング 全面球 樹脂注入工法	9	16	9	16	50
・ 充填工法					
・ 塗り替え工法					

- フオーブンの材質
- ・ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
 - ・ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度

注入工法用材料

- ・ ボンド

広がり速度(cm/s)	長さ変化量(取長)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm ²)	曲げ性能(材齢28日)(N/mm ²)	吸水性(72時間)(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm ²)
3以上	3以下	0.35~0.55	5.0以上	15以下	5.0以上

充填工法用材料

- ・ ボンド
- ・ ボンド

塗り替え工法用材料

- ・ 現場調査材料(セメントは改修標準仕様書8-2 コンクリート工事による)
- ・ 既調合材料

既製目地材

- ・ 使用する (形状)
- ・ 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理

4-3章 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁改修)

- 1 既存タイル張りの撤去 (4.1.4)(4.4.5、6)
- ・ 行う
 - ・ 撤去範囲
- 撤去後の処理
- ・ 「4-1.1ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。
 - ・ 「4-2.2ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。

タイルの形状、寸法

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚損性	備考
				I類	II類	III類						

- 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
- ・ 見本焼き (施工箇所)
 - ・ 試験張り (範囲、仕様等は図示による)

- 2 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.4.5、6)
- ・ 樹脂注入工法
- | 工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 注入口間隔(mm) | 注入量(ml/m) |
|-----------------|-------------|-----------|-----------|
| ・ 自動式低圧球 樹脂注入工法 | 0.2以上~1.0以下 | 200~300 | 130 |
| ・ 手動式球 樹脂注入工法 | 0.2以上~0.3未満 | 50~100 | 40 |
| ・ 機械式球 樹脂注入工法 | 0.3以上~0.5未満 | 100~200 | 70 |
| | 0.5以上~1.0以下 | 150~250 | 130 |
- 注入状況の確認方法
- ・ 抜き取りを行う
 - ・ 抜き取り箇所
 - ・ 抜き取り部の補修方法

- 3 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.4.5、7、8)
- 1か所当たりの張替え面積が0.25㎡を超える場合の工法
- ・ 張替え工法
 - ・ 接着剤の種類
 - ・ 樹脂
 - ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系
 - ・ タイル張替え工法
 - ・ 張替え用材料
 - ・ 接着剤: JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系
 - ・ 張付け
- 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
- ・ 改修標準仕様書表4.4.2による
- ・ 外装タイル張り下地等の下地及び下地調整材塗りの接着力試験

- ・ セメントによるタイル (タイルタイル) 張り
- 下地を塗りを行うコンクリート素地の処理
- ・ 目荒らし工法(改修標準仕様書4.3.10による)

- タイル張りの工法
- ・ 密着張り
 - ・ 改良圧着張り
 - ・ エッジ張り
 - ・ エッジ張り
- シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による

- ・ 有機系接着剤によるタイル (タイルタイル) 張り
- 下地を塗りを行うコンクリート素地の処理
- ・ 目荒らし工法(改修標準仕様書4.3.10(3))による

- シーリング材の種類
- ・ 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
 - ・ 伸縮調整目地その他の目地
 - ・ シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

- ・ 有機系接着剤によるタイル (タイルタイル) 張り
- 下地を塗りを行うコンクリート素地の処理
- ・ 目荒らし工法(改修標準仕様書4.3.10(3))による

4 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.4.5)(4.5.9~15)

工法の種類	フオーブンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・ フォーブニング 部分球 樹脂注入工法	16	25	12	20	25
・ フォーブニング 全面球 樹脂注入工法	13	20	12	20	25
・ フォーブニング 全面球 樹脂注入工法	13	20	12	20	50
・ 注入口付フォーブニング 部分球 樹脂注入工法	9	16	9	16	25
・ 注入口付フォーブニング 全面球 樹脂注入工法	9	16	9	16	25
・ 注入口付フォーブニング 全面球 樹脂注入工法	9	16	9	16	50
・ 充填工法					
・ 塗り替え工法					

- フオーブンの材質
- ・ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
 - ・ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度

注入工法用材料

- ・ ボンド

広がり速度(cm/s)	長さ変化量(取長)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm ²)	曲げ性能(材齢28日)(N/mm ²)	吸水性(72時間)(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm ²)
3以上	3以下	0.35~0.55	5.0以上	15以下	5.0以上

充填工法用材料

- ・ ボンド
- ・ ボンド

塗り替え工法用材料

- ・ 現場調査材料(セメントは改修標準仕様書8-2 コンクリート工事による)
- ・ 既調合材料

既製目地材

- ・ 使用する (形状)
- ・ 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理

- ・ タイル部分張替え工法
- 接着剤の種類
- ・ ボンド
 - ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系

- ・ タイル張替え工法
- 張替え用材料
- ・ 接着剤: JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系
 - ・ 張付け

- 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
- ・ 位置
 - ・ 改修標準仕様書表4.5.11による

- ・ 外装タイル張り下地等の下地及び下地調整材塗りの接着力試験

- ・ セメントによるタイル (タイルタイル) 張り
- 下地を塗りを行うコンクリート素地の処理
- ・ 目荒らし工法(改修標準仕様書4.3.10(3))による
- タイル張りの工法
- ・ 密着張り
 - ・ 改良圧着張り
 - ・ 改良積上げ張り
 - ・ エッジ張り
 - ・ マジ張り
 - ・ エッジ張り
- シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による

- ・ 有機系接着剤によるタイル (タイルタイル) 張り
- 下地を塗りを行うコンクリート素地の処理
- ・ 目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3))による
- シーリング材の種類
- ・ 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
 - ・ 伸縮調整目地その他の目地
 - ・ シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

- 5 目地改修工法 (4.1.4)(4.4.16)
- ・ 目地ひび割れ部改修工法
 - ・ 伸縮調整目地改修工法
- 伸縮調整目地の位置及び寸法
- ・ 図示による
- シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

4-4章 外壁改修工事(塗り仕上げ外壁改修) (4.5.4)

- 1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (4.5.4)
- | 工法 | 処理範囲 | 下地面の補修 |
|-----------|-------------------------------------|--------|
| ・ フォー工法 | ・ 既存仕上面全体 | ・ 図示 |
| ・ 高圧水洗工法 | ・ 既存仕上面全体 | ・ 図示 |
| ・ 塗膜はく離工法 | ・ 既存仕上面全体 | ・ 図示 |
| ・ 水洗い工法 | ・ フォー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上面 | ・ 図示 |

- 2 下地調整塗材 (4.5.2)
- 下地調整
- ・ 下地調整塗材

- 3 仕上塗材仕上げ (4.1.5)(4.5.2)(表4.5.1)
- 新規仕上塗材の種類
- | 種類(呼び名) | 仕上げの形状 | 工法 | 上塗り | 防火材料 |
|---------|--------|----|-----|------|
| | | | | |
| | | | | |

- ・ 厚付け仕上塗材
- | 種類(呼び名) | 仕上げの形状 | 工法 | 上塗り | 防火材料 |
|---------|--------|----|-----|------|
| | | | | |
| | | | | |

- ・ 複層仕上塗材
- | 種類(呼び名) | 仕上げの形状 | 工法 | 上塗材の種類 | 耐候性 | 防火材料 |
|---------|--------|----|--------|-------|------|
| | | | 樹脂 | 耐候性3種 | |
| | | | 樹脂 | 耐候性3種 | |
| | | | 樹脂 | 耐候性3種 | |
| | | | 樹脂 | 耐候性3種 | |

- ・ 可とう形改修仕上塗材
- | 種類(呼び名) | 仕上げの形状 | 工法 | 上塗材の種類 | 耐候性 | 防火材料 |
|---------|--------|----|--------|-------|------|
| | | | 樹脂 | 耐候性1種 | |
| | | | 樹脂 | 耐候性2種 | |
| | | | 樹脂 | 耐候性3種 | |

- 4 マスチック塗材塗り (4.1.5)(4.6.2)(表4.6.1)
- 種類
- ・ A種
 - ・ B種

- 5 外壁用塗膜防水塗り (4.1.5)(4.7.2、3)(表4.7.1)
- 仕上げの形状
- ・ 図示
- 工法
- ・ 図示
- 仕上塗材の耐候性
- ・ 適用する
 - ・ 適用しない
- 下地準拠塗材の適用
- ・ 適用する
 - ・ 適用しない
- コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(タイル打ち直し仕上げ外壁改修)による
- タイル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(タイル塗り仕上げ外壁改修)による
- 吹付け工法の仕様材の種類
- ・ (所要量 (kg/㎡))
- 外壁用仕上塗料の種類
- ・ (所要量 (kg/㎡))
- 既存塗膜の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(塗り仕上げ外壁等改修)による

5章 建具改修工事 (5.1.3)

1 改修工法 (5.1.3)
建具の種類 材質 撤去工法 適用箇所
・アルミ製建具
・樹脂製建具
・鋼製建具
・鋼製軽量建具
・ステンレス製建具
・木製建具

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
新規建具周囲の補修工法及び範囲
建具周囲のシラフは、改修特記仕様書3章防水改修工事による

2 防火戸 (5.1.4)
指定する 適用箇所
指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及びホース装置、熱感知器又は煙感知器との連動
運動させる
運動させない

3 見本の製作等 (5.1.5)
建具見本の製作 建具符号
建具見本の目的等
工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組 建具符号

4 防犯建物部品 (5.1.7)
適用する
適用しない

5 アルミニウム製建具 (5.2.2~5)(表5.2.2)

性能値等
耐風圧性の等級
気密性の等級
水密性の等級
外部に面する建具の種類
枠の見込み寸法
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級
材料
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
着色
屋内の建具
結露水の処理方法
工法
水切り板、せん板

網戸等 (5.2.3)(5.3.3)
種類 材質 網径 網目
・防虫網
・防鳥網

6 樹脂製建具 (5.2.2)(5.3.2~5)

性能値等
耐風圧性の等級
気密性の等級
水密性の等級
外部に面する建具の種類
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
枠の見込み寸法
材料
形状及び仕上げ
表面色
工法
水切り板、せん板

7 鋼製建具 (5.2.2)(5.4.2~4)(表5.4.2)

性能値等
簡易気密型ドアット
外部に面する鋼製建具の耐風圧性
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
ステンレス製のくつずりの仕上げ
ステンレス鋼板
形状及び仕上げ
鋼板の厚さ
標準型鋼製建具の形式及び寸法

8 鋼製軽量建具 (5.2.2)(5.5.2~4)

性能値等
簡易気密型ドアット
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
鋼板の種類
ステンレス鋼板
召合せ、縦小口包み板の材質
形状及び仕上げ
鋼板の厚さ(mm)
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法

9 ステンレス製建具 (5.2.2)(5.4.2)(5.6.2~5)

性能値等
簡易気密型ドアット
外部に面する建具の耐風圧性
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
ステンレス鋼板
ステンレス製のくつずりの仕上げ
表面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工

10 木製建具 (5.7.2~4)

建具材の加工、組立時の含水率
建物内部の木製建具に使用する接着剤の放散量
表面材の放散量

表面材の合板の種類
普通合板[G]
天然木化粧合板[G]
特殊加工化粧合板[G]
MDF[G]
表面の樹種
板面の品質
樹種名
化粧加工の方法
接着の程度

表面板の厚さ
引戸の召合わせかまちのいんろう付きの適用

かまち戸
ふすま
戸ぶすま
紙張り障子
樹種
見込み寸法
張りの種別
上張り(押入等の裏側以外)
縁仕上
見込み寸法
表面板の厚さ
見込み寸法

枠、くつずりの材料

11 建具用金物 (5.8.2、3)

金物の種類・見え掛り部の材質等
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ
木製建具に使用する戸車及びレール
錠前類
錠前類

鍵
錠前類
錠前類

13 自動ドア開閉装置 (5.9.2、3)

戸の開閉方式
引き戸用駆動装置
性能値
改修標準仕様書5.9.11による
以下による
種類・開閉方式
耐電圧
温度上昇
耐久性(99%)
防錆
電源
多機能出入口引き戸用駆動装置
性能値
改修標準仕様書5.9.21による
以下による
耐電圧
温度上昇
耐久性(99%)
防錆
電源
引き戸用検出装置
性能値
改修標準仕様書5.9.3による
以下による
耐電圧
温度上昇
防錆
電源
引き戸用検出装置の種類
建具による
タッチスイッチの種類
無線式タッチスイッチ
光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
大形押しボタンスイッチ
非接触スイッチ
凍結防止措置
行う
行わない

14 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)

性能値等
改修標準仕様書 5.10.1 による
以下による
手動開き力
手動閉じ力
閉じ速度の調整
制動区間
開閉繰返し
耐衝撃性

15 重量シャッター (5.11.2、3)

シャッターの種類
管理用シャッター
外壁用防火シャッター
屋内用防火シャッター
防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度
開閉方式の種類
安全装置
電動シャッターの急降下停止装置、急降下制動装置
電動シャッターの障害物感知装置
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
管理用シャッターのシャッターケース
設置しない
スラスト及びシャッターケース用鋼板

鋼板の種類
JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)
めっきの付着量
Z12またはF12

スラストの材質の種類
スラストの形状

16 軽量シャッター (5.12.2~4)

開閉方式の種類
耐風圧強度
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
スラストの材質の種類
めっきの付着量
JIS G 3322(塗装溶融55%亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量
スラストの形状

17 オーバーヘッドドア (5.13.2、3)

材質による区分
耐風圧性能の区分
開閉方式による区分
収納形式による区分
ガイドレールの材料

ガラス
材料板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
型板ガラスの厚さによる種類
網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類
落球衝撃はく離特性並びにショットパッチ衝撃特性による種類

強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
破片の状態及びショットパッチ衝撃特性による種類
熱線吸収ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
性能による種類
複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
断熱性による区分
日射取得性、日射遮蔽性による区分
乾燥気体の種類
乾燥気体の種類
熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
日射遮蔽性による区分
耐久性による区分(日射遮蔽性による区分が2種の場合)
倍強化ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類
アルミ製
鋼製及び鋼製軽量
ステンレス製
樹脂製

19 ガラスブロック (5.14.5)
呼び寸法(mm)
厚さ(mm)
色調
目地幅(mm)
伸縮調整目地位置(mm)
防火性能

壁用金属枠及び補強材
力骨 材質
形状
化粧目地色
シーリングの種類
金属製化粧カバー
材質
寸法
形状
目地部の横力骨の納まり
工法

20 ガラス用フィルム
種類
記号
性能等

6章 内装改修工事

1 改修範囲 (6.1.3)
 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示
 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示
 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
 ※既存のまま 図示

2 既存床の撤去及び下地補修 (6.2.2)
 ※ビニルシート等の除去
 ※仕上材のみ(接着剤とも) 下地もろとも (図示 除去範囲全て)
 合成樹脂塗床材の除去 機械的除去工法 目黒し工法
 既存のフローリング又はモザイク面の下地処理に用いる「リネン」樹脂は、4章外壁改修工事による改修後の床の清掃 図示

3 既存壁の撤去及び下地補修 (6.3.2)
 間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗 (塗り厚25mmを超える場合の処置 図示)

4 施工一般 (6.5.2)
 材料の「A74747」放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(b)による

5 製材[G] (6.5.2)
 県内産木材の適用がない場合でも可能な範囲で県内産、市販品
 報告：静岡県産材証明制度の「県産材販売管理票」により報告すること
 ※合法的に生産された木材を使用すること。
 報告：木材・木製品の合法性、持続可能性の証明のための「イ・ラビ」(平成18年2月15日林野庁作成)に準拠した証明書により報告すること
 造作材の材面の品質の基準 ※A種 B種

※ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※2級		※A種・B種		有・無
			※2級		※A種・B種		有・無
			※2級		※A種・B種		有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見掛面			※上小節		※A種・B種		有・無
見掛面以外			※小節以上		※A種・B種		有・無
			※2級		※A種・B種		有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※1等		※10%以下 ※A種・B種		有・無
			※1等		※10%以下 ※A種・B種		有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※ JAS 1083(製材)以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		(※A種・B種)	適用する 適用しない	※A種・B種	有・無
		(※A種・B種)	適用する 適用しない	※A種・B種	有・無
		(※A種・B種)	適用する 適用しない	※A種・B種	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

6 造作用集成材[G]
 ※「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※1等・2等	※1等・2等	有・無
				※1等・2等	※1等・2等	有・無
				※1等・2等	※1等・2等	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等	※1等	有・無
					※2等	※2等	有・無
					※1等	※1等	有・無
					※2等	※2等	有・無
					※1等	※1等	有・無
					※2等	※2等	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等	有・無
					※2等	有・無
					※1等	有・無
					※2等	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	有・無
				※15%以下	有・無
				※15%以下	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					※15%以下	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					※15%以下	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

7 造作用単板積層材[G] (6.5.2)
 ※ JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				適用する 適用しない	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※ JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
				※14%以下	適用する 適用しない	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※ JAS 3079に基づく直交集成材[G]

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

8 合板等 (6.5.2)
 ※ JAS 0360に基づく構造用パネル
 ※「合板の日本農林規格」による普通合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防湿処理	間伐材等の適用
	※5.5		※1類 ※2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	有・無	有・無	有・無	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※「合板の日本農林規格」による構造用合板[G]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	防湿処理	間伐材等の適用
	※2級以上 1級		※1類 ※特類	※C-D以上 ※12	有・無	()	有・無	有・無	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類・特類	有・無	有・無
			※1類・特類	有・無	有・無
			※1類・特類	有・無	有・無

県産木材の適用 適用する 適用しない

※「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			※1類・2類	有・無
			※1類・2類	有・無
			※1類・2類	有・無

※「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		※1類・2類			有・無
		※1類・2類			有・無
		※1類・2類			有・無

※「パーティクルボード」[G]

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※1377	※P又はM		※15
		※1377	※P又はM		※15

※ JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法(mm)

※ MDF[G]

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

9 接合具等 (6.5.3)
 造作材の化粧面の釘打ち
 ※隠し釘打ち
 ※釘埋め木
 ※つぶし頭釘打ち
 ※釘頭現し
 ※釘頭がい、産金、箱金物、短冊金物
 (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
 ※形状: 寸法: 材質:

諸金物

10 接着剤 (6.5.3、4)
 接着剤の「A74747」放散量 ※F☆☆☆☆

11 防虫・防蟻処理 (6.5.5)
 ※防虫・防蟻処理を省略できる樹種による製材
 適用部位: ()
 ※薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
※K2	※K3
※K2	※K3
※K2	※K3

※薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 1571に適合又は同等品

※薬剤の接着材への混入による防虫・防蟻処理
 適用部位: ()
 ※合板等の加圧注入処理等の適用
 適用部位: ()

12 内部間仕切軸組及び床組み (6.5.6)
 間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松
 床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松

13 窓、出入口その他 (6.5.7)
 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
 ※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

14 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2~4)
 特定天井 有 (仕様、位置は図示による) 適用しない
 野縁等の種類 屋外 (※25形・19形) 適用する
 屋内 (※19形・25形) 適用する
 屋外の形式及び寸法
 野縁受、吊りどめ及び巾着の取付 図示
 周辺部の端からの取付 図示
 野縁の取付 図示
 既存の埋込み巾着 使用する 使用しない

※あと施工の引抜き試験
 ※試験箇所数: (箇所) ※室内の場合、当該階において3箇所
 ※引抜き試験に確認する強度 ※つりボルト受け等の取付が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
 ※ ()
 ※吊りどめの取付が900mmを超える場合の補強方法 図示
 ※天井のふところ高が3.0mを超える場合の補強方法 図示
 ※天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 図示
 ※補強方法 図示

15 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3、4)(表6.7.1)
 スタッド、ランナーの種類
 ※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた酒類
 ※スタッドの高さが5mを超える場合
 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 図示
 ※改修標準仕様書6.7.4(5)による 図示

16 ビニル床シート[G] (6.8.2、3)
 種類の記号 色柄 厚さ(mm) 備考
 ※FS(複層ビニルシート) 無地 厚さ: 2.0
 ※ マーブ柄
 ※柄物

接合部の処理 ※熱溶接工法

17 ビニル床タイル張り[G] (6.8.2)
 種類の記号 色柄 寸法(mm) 厚さ(mm) 備考
 ※KT(コンクリート強化タイル) 無地 300×300 2.0
 ※柄物 450×450
 ※TT(単層ビニルタイル) 無地 300×300 2.0
 ※柄物 450×450 2.5
 ※3.0
 ※FT(複層ビニルタイル) 無地 300×300 3.0
 ※柄物 450×450 3.0
 ※FOA(置敷きビニルタイル) 無地 500×500 4.0
 ※柄物
 ※FOB(薄型置敷きビニルタイル) 無地
 ※柄物

18 特殊機能床 (6.8.2)
 ※帯電防止床シート
 種類 () 性能 ()
 厚さ (mm)
 ※帯電防止床タイル
 種類 () 性能 ()
 寸法 (mm) × (mm)
 ※視覚障害者誘導用床タイル
 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
 種類 () 形状 ()
 ※耐動荷重性床シート
 種類 () 厚さ (mm)
 ※防滑性床シート
 種類 () 厚さ (mm)
 ※防滑性床タイル
 種類 () 寸法 (mm) × (mm)
 厚さ (mm)

19 ビニル床 (6.8.2)
 材質 ※硬質 ※軟質
 高さ(mm) ※60 ※75 ※100
 厚さ ※1.5mm以上

20 ゴム床タイル (6.8.2)
 種類 ※単層品 ※積層品
 色柄 ()
 厚さ(mm) ※3.0 ※4.5 ※6.0 ※9.0
 寸法(mm) ()

21 カーペット敷き (6.9.2、3)(表6.9.1)
 ※織じゅうたん
 織り方 形状
 ※ウェットカーペット ※カットパイル
 ※ドライウェットカーペット ※ループパイル
 ※アクリルカーペット ※カット、ループ併用
 色柄 ※模様の無い無地
 ※パイル糸の種類等 ※無地の織りじゅうたんの種類 (A種・B種・C種)
 帯電性 適用する 適用しない
 織りじゅうたんの接合方法 ※ヒートシット工法
 下敷き材 ※反毛タイル(JIS L 3204)の第2種1号 呼び厚さ 8mm

※タフテッドカーペット
 ※形状
 ※パイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考
 ※カットパイル ※5~7 ※全面接着工法 適用する
 ※ループパイル ※4~6 ※タフテッド工法 適用しない
 ※カット、ループ併用
 タフテッドカーペット用接着剤の「A74747」放散量 ※F☆☆☆☆
 下敷き材(タフテッド工法の場合) ※反毛タイル(JIS L 3204)の第212号 呼び厚さ 8mm

※タイルカーペット
 ※形状の種類 種類 施工箇所 寸法(mm) 総厚さ(mm) 備考
 ※ループパイル ※第一種 ※500×500 ※6.5
 ※第二種
 ※カットパイル ※第一種 ※500×500 ※6.5
 ※第二種
 ※カット、ループ併用 ※第一種 ※500×500 ※6.5
 ※第二種
 タイルカーペット用接着剤の「A74747」放散量 ※F☆☆☆☆
 タイルカーペットの敷き方 ※市松敷き ※模様流し ※市松敷き
 ※階段部分 材質 () 種類 ()
 ※形状等 図示
 見切り、押え金物

22 合成樹脂塗床 (6.10.2、3)
 種類 施工箇所 工法 仕上の種類
 ※厚膜型塗床材 平場 ※平滑仕上げ
 ※弾性軟質樹脂塗床材 ※平滑仕上げ
 ※つや消し仕上げ
 ※厚膜型塗床材 ※薄膜流しのべ工法 ※平滑仕上げ
 ※エポキシ樹脂塗床材 ※厚膜流しのべ工法 ※平滑仕上げ
 ※薄膜型塗床材 ※樹脂モザイク工法 ※平滑仕上げ
 塗料の「A74747」放散量 ※F☆☆☆☆

23 フローリング張り (6.11.2~6)
 フローリングの「A74747」放散量 ※改修標準仕様書6.11.2(2)による
 各工法に使用する接着剤の「A74747」放散量 ※F☆☆☆☆

※単層フローリング(フローリングボード)1等
 工法 ※釘留め工法 (※根太張り ※直張り) ※接着工法
 樹種 ※なら ※マツノ樹種
 ※間伐材の適用
 ※単層フローリング(フローリングブロック)1等
 樹種 ※なら
 厚さ ※
 ※間伐材の適用
 ※複合フローリング
 工法 ※釘留め工法 (※根太張り ※直張り) ※接着工法
 樹種 ※なら
 種類 ※A種 ※B種 ※C種
 ※間伐材の適用

接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ※クッション樹脂塗床 ※タイルの上、ワックス塗 ※生地のままワックス塗

24 畳敷き (6.12.2)
 種類 ※A種 ※B種 ※C種 ※D種(畳床KT- I II III K N)
 下地の種類 ※標準仕様書表12.6.1による床組み
 ※ポリスチレンフォーム床下地(フロア[G])
 ※表裏及び畳床は「A74747」及び「B74747」及びびんを発生しないか、発生がきわめて少ない材料を使用したものとする。
 衝撃緩和型畳 表畳 ※C1 ※C2

25 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2、3)

Table with columns for material types (種類等), thickness (厚さ), and specifications (規格等). Rows include wood-based boards, gypsum boards, and various laminated boards.

Table with columns for material types (種類等) and thickness (厚さ). Rows include composite boards (合板類) and special processing composite boards (特殊加工化粧合板).

天井のボード類(ウツク-吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※ 図示による
合板類の張付け A種 ※ B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類 ※ 改修仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 ※ ベベルエッジ ※ スクエアエッジ

Table with columns for construction site (施工箇所), wall paper type (壁紙の種類), fireproofing type (防火種別), and remarks (備考).

モルタル、プラスチック面の素地ごしらえ ※ B種 A種
コンクリート、ALC面の素地ごしらえ ※ B種 A種
せっこうボード面の素地ごしらえ ※ B種 A種

27 モルタル塗り (6.15.3、5、6)
モルタル
現場調査材料
既製調査材料
既製目地材 (施工箇所:)
(形状: ※ 図示による)
床目地 (目地の種類: ※ 押し目地)
(目地割り: ※ 2mm程度)
(最大目地間隔: ※ 3m程度)
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下部処理 ※ 図示による

28 タイル張り (6.16.2~4)

伸縮目地の位置
床タイル (※ 縦、横とも4mm以内と 図示)
床タイル以外 (図示)
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き (施工箇所:)
試験張り (範囲、仕様等は図示による)

Table with columns for construction site (施工箇所), type (種類), shape/size (形状寸法), and material reuse (再生材の適用). Includes a section for tile shapes and dimensions.

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既製調査タイルは別表による
タイル下地としたタイル工事に使用する張付け用タイルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既製調査目地材は別表による

Table with columns for construction site (施工箇所), type (種類), shape/size (形状寸法), and material reuse (再生材の適用). Includes a section for wall tile installation methods.

Table with columns for construction site (施工箇所), type (種類), shape/size (形状寸法), and material reuse (再生材の適用). Includes a section for standard tile shapes and dimensions.

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
接着剤の※A7※B7※D7放散量 ※ F☆☆☆☆

29 セルフレベリング材塗り (6.17.2、3)

塗厚 () mm
1 材料 (7.1.3)
屋内で使用する塗料の※A7※B7放散量 ※ F☆☆☆☆
防火材料 ※ 室内の壁、天井仕上げは防火材料とする
※ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所:)

2 下地調整 (7.2.1~7)
RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す
※ 図示
既存錆止め塗料の除去 鉛含有分析 分析方法: ()
除去方法: 鉛作業主任者を選任し、湿式により除去すること。

Table with columns for floor type (下地面の種類), adjustment type (下地調整の種別), and repair type (ひび割れ部の補修).

3 素地ごしらえ (7.3.2~7)
下地面等 種別
木部 不透明塗料塗りの場合 ※ A種 B種
透明塗料塗りの場合 ※ A種 B種
鉄鋼面(DP以外) ※ A種 B種 C種
鉄鋼面(DP) ※ A種 B種 C種
亜鉛めっき鋼面 ※ A種 B種
モルタル面及びプラスチック面 ※ A種 B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面 ※ A種 B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP) ※ A種 B種
コンクリート面(DPのみ) ※ A種 B種
せっこうボード面 目地: 継目処理工法 ※ A種 B種
及びその他ボード面 目地: 継目処理工法以外 ※ A種 B種

Table with columns for floor type (素地面), coating type (塗装の種類), coating material (塗料の種類), and work type (工程の種類).

4 錆止め塗料塗り (7.4.2、3)
錆止め塗料塗りの種別
鉄鋼面
SOP (工程の種類は表7.4.3)
新視見え掛り ※ A種 ※ B種
新視見え隠れ ※ A種 ※ B種
EP-G (工程の種類は表7.4.3)
塗替え ※ A種 ※ B種
新視見え掛り ※ A種 ※ B種
新視見え隠れ ※ A種 ※ B種
DP (工程の種類は表7.4.4)
塗替え 7.4.2(1)(f)による ※ B種(下地調整RB種)
新視見え 7.4.2(1)(f)(a)による ※ C種(下地調整RC種)

5 塗装 (7.5.2~7.13.2)

Table with columns for coating type (塗装の種類), coating surface (塗装面), replacement (塗替え), and new specification (新規). Includes a section for high reflectance coating.

高日射反射率塗料塗り[G]
下地調整(改修標準仕様書表7.2.2) ※ RA種 ※ RB種 ※ RC種

Table with columns for work type (工程), specification number (規格番号), specification name (規格名称), type (種類), grade (等級), and application amount (塗付け量).

9章 環境配慮改修工事
1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1、3~6)
石綿粉じん濃度測定
測定室
成形板の除去の際は、原則として粉じん濃度測定を実施しない。

Table with columns for application (適用), measurement name (測定名称), measurement period (測定時期), measurement location (測定場所), measurement point (測定点), and remarks (備考).

石綿粉じん濃度測定方法
自動測定器による測定
測定名称 測定方法
測定4 粉じん相対濃度計(デジタール粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(シフトメーター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

Table with columns for measurement name (測定名称), diameter (径), flow rate (試料の吸引流量), and suction time (試料の吸引時間).

石綿作業主任者
石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定制化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。

石綿含有建材の処理

石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等飛散防止措置 ※ 湿潤化 ※ 固化
除去した石綿含有吹付け材等の処分 ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ※ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ 破砕して除去 ※ 手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※ 湿潤化 ※ 固化
除去した石綿含有保温材等の処分 ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ※ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去
除去対象範囲 ※ 図示
隔離養生(負圧不要)方法 ※ 図示
足場 ※ 図示
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 ※ 埋立処分(安定型最終処分場) ※ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去した石綿含有成形板の処分 ※ 石綿含有せっこうボード ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ※ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ※ 埋立処分(安定型最終処分場) ※ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
対象仕上塗材 ※ 図示による
除去対象範囲 ※ 全面撤去 ※ 外壁補修箇所等作業箇所のみ撤去 ※ 図示による
外壁補修等作業は、足場7章設置、コ抜き、機器及び配管、配線器具類の固定等軽微な作業を示す。
除去工法
集じん装置併用手工具ワレ工法
集じん装置付高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa程度)
集じん措置付超高圧水洗工法(100MPa以上)
超音波ワレ工法(HEPAフィルター付き掃除機併用含む)
剥離剤併用手工具ワレ工法
剥離剤併用高圧水洗工法(30~50MPa程度)
剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上)
剥離剤併用超音波ワレ工法
集じん装置付「スクリーン」ワレ工法
上記工法によらない場合は、監督職員と協議の上、承諾を得ること

養生方法
除去工法の試験施工 ※ 行う ※ 行わない
除去した石綿含有仕上塗材の処分 ※ 埋立処分(安定型最終処分場) ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ※ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示

2 石綿含有建材の除去工事等に係る官公庁等への届出

労働安全衛生法に基づく届出
石綿障害予防規則に基づく届出
大気汚染防止法に基づく届出

3 新熱アスファルト防水改修工事 (9.2.2~3)

改修特記仕様書3章による

4 外断熱改修工事[G] (9.2.1~4)

Table with columns for material type (種類) and thickness (厚さ). Rows include polystyrene and polyisocyanurate insulation.

鋼材 改修特記仕様書第8章8-3鉄骨工事 ※ 鋼材による
笠木 改修特記仕様書第3章 ※ 7mm厚鋼笠木による

既存外壁の処置
既存外壁仕上げ材の撤去 ※ あり ※ なし
下地面の清掃 ※ 行う ※ 行わない
欠損部の改修工法 ※ 改修特記仕様書第4章外壁改修工事による
工法
1章 適用区分による風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整 ※
断熱材の施工 ※ 断熱材製造所の仕様による
外装材の施工 ※ 外装材製造所の仕様による
通気層の有無 ※ あり (mm) ※ なし
外装材の外壁への取付け ※ 図示 ※
笠木の施工 ※ 改修特記仕様書第3章7mm厚鋼笠木による

5 断熱・防露改修工事[G] (9.3.2~4)

フェノール樹脂断熱材又は保温材、接着剤の $\text{HfA747}^{\text{TM}}$ の放出量 ※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤の $\text{HfA747}^{\text{TM}}$ の放出量 ※F☆☆☆☆

- 工法
- 断熱材打込み工法
 - 断熱材 JIS A 9521に基づく発砲 P ラスタック断熱材
 - 種類
 - 厚さ(mm)
 - 施工箇所
 - 断熱材現場発泡工法
 - 断熱材の種類
 - A種1
 - A種1H
 - 吹付け厚さ(mm)
 - 施工箇所

- 断熱材後張り工法
 - 断熱材 JIS A 9521に基づく発砲 P ラスタック断熱材
 - 種類
 - 厚さ(mm)
 - 断熱材にせつこう P を張り付けた P
 - 材質
 - 厚さ
 - 張り付け工法
 - 断熱材の張り付け工法
 - 断熱材へのボードの張り付け工法

6 屋上緑化改修工事[G] (9.4.2~4)

- 植栽基盤及び材料
- 屋上緑化軽量の P
 - 芝及び地被類の種類 ※ 図示
 - 見切り材、舗装材、排水管、 P 材等 ※ 図示 (品質・性能・試験方法)別表による

工法 建築基準法に基づき定まる (※1) 1.15 (1.3) 倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 (設置する) (種類) (設置しない)
既存保護層の撤去 (行う) (行わない)
新植した芝及び地被類の枯保障の期間 (引渡しの日から1年)

7 透水型アスファルト舗装改修工事 (9.5.2~5、9)

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示

路床の材料	種類	材料	厚さ(mm)		
盛土	A種	B種	C種	D種	図示
	建設汚泥から再生した処理土[G]				図示
凍上抑制層	再生 P [G]			図示	
	切込み砂利			図示	
	川砂、海砂又は良質な山砂(75 μm ふるい通過量10%以下)			図示	
フィルター層	砂			図示	

凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 (行う) (行わない)

- 路床安定処理
 - 適用する (適用しない)
 - 安定処理の方法 (置き換え工法) (安定処理工法)
 - 路床安定処理用添加材料
 - 種類
 - 普通 P セメント
 - フライアッシュB種
 - 高炉セメントB種[G]
 - 普通 P セメント (特号) 1号
 - 消石灰 (特号) 1号
 - 添加量 kg/m^3 (目標CBR 3以上)
 - 目標CBRを満足する添加量の確認方法
 - 安定処理土のCBR試験
- シワキス P
 - 単位面積質量 60 g/m^2 以上
 - 厚さ(mm) 0.5~1.0
 - 引張強さ 98N/5cm(10k gf /5cm)以上
 - 透水係数 $1.5 \times 10^{-1} \text{cm}/\text{sec}$ 以上

試験

路床土の支持力比(CBR)試験 (行う) (行わない)
現場CBR試験 (行う) (行わない)
路床締固め度の試験 (行う) (行わない)

路盤

厚さ (図示)
材料

- P
- 粒度調整砕石
- 再生 P [G]
- 再生粒度調整砕石[G]
- P 鉄鋼 P [G]
- 粒度調整鉄鋼 P [G]
- 水硬性粒度調整鉄鋼 P [G]

舗装の構成 (図示)
開粒度 P 混合物等の抽出試験 (行う) (行わない)
舗装の平坦性 (著しい不陸がないもの)

10章 ユニット及びその他工事 (20.2.2)

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)	施工箇所	工法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
		置き式	500×500		1.0G	3000	帯電防止床 P	
		支柱調整式			0.6G	5000	P カーペット	

寸法精度

- 標準仕様書20.2.2(2)(a)~(c)による
- 以下による
 - P 長さの寸法精度
 - P の平面形状(角度)の寸法精度
 - P の高さの寸法精度

帯電防止性能 (評価値(I) ≥ 0.6 以上) (評価値(II) ≥ 1.2 以上)
感電防止性能 (漏えい抵抗(R) $\geq 1 \times 10^6 \Omega$) (品質・性能、試験方法は別表による)

2 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類	P 表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)		防火性能
			0	12	
スライド式(内臓)		P 樹脂焼付又は P 樹脂焼付	0	12	不燃
			20	28	
			36		

P 内に取付け可能な建具

- あり (※ 図示)
- なし

P 内に取り付ける家具の P 、丁番、錠前、上げ落としては、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
 P 材料の $\text{HfA747}^{\text{TM}}$ の放出量 ※F☆☆☆☆

3 移動間仕切 (20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	P 圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	P 表面材		遮音性 (dB/500Hz)
				材質	仕上げ	
平行方向移動式	手動式	P 式		鋼板	焼付塗装	36未満
				P 式	壁紙張り	36以上
二方向移動式	部分電動式					

P 表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
 P への P の取付け下地の補強

- 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する (※ 図示)

P を P に取り付ける部品

- P に加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの

P への P 及び P

- P の重量の5倍の荷重を、 P 1枚に使用する P 数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

(品質・性能は別表による)

4 トイレブース (20.2.5)

表面材の材料	脚部種類	P 材質
P 樹脂系化粧板		P 製

(品質・性能、試験方法は別表による)

5 手すり (20.2.6)

材料の種類及び仕上げ

- SUS304
- 表面処理
 - HL程度
 - 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
 - 表面処理(標準仕様書表14.2.2による種別)
 - P
 - 表面処理(標準仕様書表14.2.1による種別)
 - 色合等
 - 標準色
 - 特注色

手すりの握り部分

材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
集成材	P	35程度		
		45程度		
ビニル製ハンドル		35程度		
		45程度		

6 階段滑り止め (20.2.7)

材質

- P 製
- 黄銅製押出型材
- P 製押出型材

形状

- P 型(材質: P 又は合成樹脂)
- P 型

端部の形状

- P あり
- P なし

寸法(幅)

- 35mm程度
- 40mm程度
- 50mm程度

取付け工法

- 接着工法
- 埋め込み工法

7 黒板及びホワイトボード (20.2.9)

黒板

- 区分
 - 焼き付け
 - 鋼製黒板
 - ほうろう黒板
- 色
 - 緑
- お P

8 鏡 (20.2.10)

取付箇所

- 寸法(mm) (※ 図示)
- 厚さ(mm) (※ 5)

9 表示 (20.2.11)

衝突防止表示

- 設置する (※ 図示)
- 設置場所
 - 形状・寸法
 - 30 ϕ
 - 材質
 - P 製
 - 設置しない

誘導標識、非常用出入口等の表示

- 消防法に適合する市販品
- 室名札、 P 、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による) (※ 図示)

10 タラップ (20.2.12)

材質及び仕上げ

- SUS304
- スリップ止め加工 (※ あり) (なし)
- 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (標準仕様書表14.2.2による種別) (※ C種)

11 煙突 P (20.2.13)

適用安全使用温度

- 工法 (※ 鋼製 P 煙突(煙突用成形 P 材) (※ 図示)

12 ブラインド (20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅(mm)	P の材質	幅・高さ・取付箇所
縦形	電動	1本操作コード式	P 合金製[G]	25	鋼製	図示

縦型ブラインドのスラットの材質

- P スラット 焼付塗装仕上げ
- P 繊維製
- P 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
- P 繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。

13 ロールスクリーン (20.2.15)

操作方法	P の材質	その他の材料	幅・高さ、取付箇所	品質
スクリーン式	P 繊維製	※ 製造所の仕様	図示	図示
コード式	合成、天然繊維製			
電動式	木製			

14 カーテン (20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
シングル	片引き	手引き	フラスひだ		図示
ダブル	引分け	ひも引き	箱ひだ、片ひだ		
	電動	電動	ブレンひだ		

生地の仕様

- 消防法で定める防炎性能の表示があるもの
- P 繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。
- 暗幕 P の両端、上部及び召合せの重なり (※ 300mm以上)

15 カーテンレール (20.2.16)

材料による区分

- P 又は P 合金の押出成型材
- P 製

強さによる区分

- 10-90
- 形状
 - P 形
 - 角形

16 ブラインド P 及び P (20.2.16)

溝型x深さ(mm)

- 90x150
- 120x80
- 120x150
- 150x80

材質

- 集成材
- 仕上げ
 - P 製 押出し型材(市販品)
 - 標準仕様書14.2.11による種別
 - 色合い
 - 標準色
 - 特注色
- 鋼製
- 仕上げ

17 天井点検口

材質	寸法	形式	外枠	内枠
P 製	450×450	一般形	屋内外用	額縁 P
	600×600		屋内用	目地 P
			気密形	

(品質・性能、試験方法は別表による)

18 床点検口

材質	寸法	形式	備考
P 製	450×450	一般形	屋内外用
	600×600		屋内用
P 製		密閉形	鍵付き
鋼製			

密閉形とは P 、 P 等 P 構造に P を装着したものとす。
(品質・性能、試験方法は別表とする)

19 耐震 P

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
垂直	25	完全(全貫通型)	耐火型	有り	
			非耐火型	無し	
水平	25				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	シーリング材(見え掛かり部のみ)	シーリング材(見え掛かり部のみ)
目地寸法	スラット幅×深さ10	スラット幅×深さ10

目地材の材質は標準仕様書表9.7.11による

20 止水板

形式

- 窓込式
- 据置式
- 壁張り式

施工箇所

- 図示

21 エキスパンションジョイント金物

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

22 くつきマット

材質	受け枠	備考
塩化ビニル又は P 製	P 鋼(SUS304)製	
硬質 P 合金製	硬質 P 合金	
P 鋼(SUS304)製		

23 流し台ユニット

材質	寸法(mm)			備考
	W	D	H	
流し台	1200	550	800	市販品
	1500	600	850	トラップ付き
	1800	650		天板 P 製
コンタ	600	550	620	市販品
		600	670	バックガード有り
		650		天板 P 製
つり戸棚	1200	450	500	市販品
	900		700	
水切り	1200			市販品
	900			P 製
	600			1段式

品質・性能 外観は、JIS A 4420「 P 設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420の8)により試験を行ったとき、表1の規定による。

形状 (※ 図示)

24 旗竿

材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
P 合金製	ターナー式		<ul style="list-style-type: none"> ペントP式 ロープ式 	<ul style="list-style-type: none"> 埋込式 ペー式 ペントP式 	
	同一断面式				

25 旗竿受金物

P 製(SUS304)

26 車止めさく

形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)
上下式 P 内蔵式	標準品	P 製	GL+700
	P 式		

27 フェンス

フェンスの種類

- ビニル被覆 P フェンス
- 樹脂塗装 P フェンス
- 鋼管フェンス
- P フェンス

高さ (※ 図示)

28 プレキャストコンクリート (20.3.3)(20.3.4)

コンクリートの設計基準強度

- 水セメント比55%以下、単位セメント量 $300 \text{kg}/\text{m}^3$ を満足する調査強度
- 図示

配筋

- 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する (※ 図示)

取付け方法 (※ 図示)

29 間知石及びコンクリートブロック積み

種類	種類	質量区分	備考
間知石	花こう岩		
	凝灰岩		
コンクリート間知ブロック		A	B

積み方 (※ 谷積み) (布積み)
目録 (※ 図示)
伸縮調整目地

- 材質 (※ 図示)
- 厚さ (※ 図示)

30 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類		
鋼製書架	JIS S 1039の規格による	1種	2種	3種
鋼製物品棚		4種	5種	6種

31 屋内掲示板

枠の材質 (※ P 製)
表面の材質 (※ P 発泡 P 張り)

8章 耐震改修工事

- 8-1 鉄筋工事
1 鉄筋
2 溶接金網
3 鉄筋の継手
4 鉄筋の定着
5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)
6 圧接完了後の試験

7 機械式継手

- 8 溶接継手
9 割製補強筋
8-2 コンクリート工事
1 レディーミクストコンクリート工場
2 コンクリート種類
3 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等
4 セメント
5 骨材
6 混和材料
7 構造体用モルタル
8 暑中コンクリート

9 マスコンクリート

- 10 無筋コンクリート
11 流動化コンクリート
12 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地
13 構造体コンクリートの仕上げ
14 打増し厚さ(打放し仕上げ部)
15 型枠
16 型枠の加工及び組立
17 コルットの打込み工法等

3 鋼材

- 4 高力ボルト
5 普通ボルト
6 溶融亜鉛めっき高力ボルト
7 アンカーボルト
8 溶接材料
9 スタッド
10 製作精度
11 仮組
12 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験
13 溶接施工
14 入熱、バス間温度の溶接条件
15 溶接部の試験

16	錆止め塗装	[7.3.3] (8.17.2、4)																																										
塗料の種類 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 <input checked="" type="checkbox"/> 改修標準仕様書8.17.2(1)(7)～(4)による <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 図示による																																												
塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章「塗装改修工事」による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 <input checked="" type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																																												
17	耐火被覆	(8.18.2～8)																																										
種類、材料、工法等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料、工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付けロッキング</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>半乾式吹付けロッキング</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>湿式ロッキング</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火板張り</td> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロッキング</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>耐火塗料</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>			種類	材料、工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付けロッキング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半乾式吹付けロッキング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	湿式ロッキング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	耐火材巻付け	高断熱ロッキング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ラス張りモルタル塗り		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	耐火塗料		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
種類	材料、工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																									
耐火材吹付け	乾式吹付けロッキング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
	半乾式吹付けロッキング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
	湿式ロッキング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
耐火材巻付け	高断熱ロッキング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
ラス張りモルタル塗り		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
耐火塗料		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																									
18	アンカーボルトの設置等	[7.10.3]																																										
構造用アンカーボルトの形状及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 厚さ <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 厚さ <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 種類 <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種																																												
19	鉄骨ブレース設置後の仕上げ	(8.22.9)																																										
<input type="checkbox"/> 図示による																																												
20	あと施工アンカー	(8.2.4)																																										
材料等 ・金属系アンカー ・引張耐力 () kN <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> ・せん断耐力 () kN <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> アンカー本体の径及び埋込み長さ <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> セット方式 <input checked="" type="checkbox"/> 本体打込み式改良型 <input type="checkbox"/> 接合筋の種類、径、長さ <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> ・性能確認試験 試験方法及び試験数 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> ・接着系アンカー ・引張耐力 () kN <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> ・せん断耐力 () kN <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> アンカーの種類 <input checked="" type="checkbox"/> アセリ方式回転打撃式 <input type="checkbox"/> 接着剤の品質 <input type="checkbox"/> 有機系 <input type="checkbox"/> 無機系 <input type="checkbox"/> アンカーの径及び埋込み長さ <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> アンカーの種類 <input type="checkbox"/> アンカーの新設壁内への定着の長さ <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> ・性能確認試験 試験方法及び試験数 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/>																																												
穿孔 埋込み配管等の探査方法 (8.12.14) <input type="checkbox"/> 鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> はつり出しによる <input type="checkbox"/>																																												
施工確認試験 (8.12.7) 試験方法 <input checked="" type="checkbox"/> 引張試験機による引張試験 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 確認強度 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/>																																												
21	柱底均しモルタル及びグラウト材	(8.2.12)																																										
柱底均しモルタル <input checked="" type="checkbox"/> 無収縮モルタル <input type="checkbox"/> グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系(酸化カルシウム及び硫酸カルシウム・シリカ・アルミナ等)によって膨張する性質を利用するものとする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンクレッション J-ポットによる下流時間 練混ぜ完了から3分以内の値：8±2秒 プレーニング 練混ぜ2時間後のプレーニング率：2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間：1時間以上 最終時間：10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0N/mm ² 以上 材齢 28日 40.0N/mm ² 以上 塩化物量 0.30kg/m ³ 以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。 プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。																																												

22	連続繊維シート	(8.2.13) (8.24.6)
連続繊維の材料 <input type="checkbox"/> 炭素繊維 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> フリット繊維 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
引張強度(含浸硬化後) <input type="checkbox"/> () N/mm ² <input type="checkbox"/> ヤング係数(含浸硬化後) <input type="checkbox"/> () N/mm ² <input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> 下地処理 <input type="checkbox"/> ひび割れ部改修 範囲 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> 工法の種類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> 連続繊維補強材の強度試験 <input type="checkbox"/> 引張強度試験 <input checked="" type="checkbox"/> JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 試験数量 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 付着強度試験 <input checked="" type="checkbox"/> JIS A 6909(建築用仕上塗材)による <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 試験数量 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/>		
23	仕上げ	(8.24.7)
補強工事後の仕上げ <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/>		
24	耐震スリット的方式、幅及び深さ	(8.25.2)
方式 <input type="checkbox"/> 完全 <input type="checkbox"/> 部分 <input type="checkbox"/> 幅及び深さ <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> 設置箇所 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/>		
25	耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査	(8.12.4)
部分撤去部の埋込み配管等の探査方法 <input type="checkbox"/> 鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> はつりだしによる <input type="checkbox"/>		
26	耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等	(8.25.2)
<input type="checkbox"/> 耐火材 使用箇所及び仕様 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 遮音材 使用箇所及び仕様 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> 撤去部の補修 <input checked="" type="checkbox"/> 撤去材と同一材で補修 <input type="checkbox"/>		
27	埋戻し及び盛土	(8.28.3)
材料及び工法 ・材料 () 工法 () <input checked="" type="checkbox"/> 改修標準仕様書8.28.1による <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> A種 適用場所 () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> B種 適用場所 () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> C種 適用場所 () <input type="checkbox"/> 土質 () 受渡場所 () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> D種 適用場所 () <input type="checkbox"/> (品質 細粒分(75μm以下の含有率(重量百分率))の上限を50%未満とする)		
28	杭地業	(8.2.15) (8.28.4) [4.3.8]
支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む) <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭の継手の個数、材料、工法等 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭の溶接接手 技術資格者の技量 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接部の確認 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭頭の処理 <input type="checkbox"/> 処理しない <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 処理する <input type="checkbox"/> 処理方法(切断にともなう補強方法含む) <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭頭の中詰め材料 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 基礎のコンクリートと同調合のもの <input type="checkbox"/> 杭の精度 水平方法の位置ずれ <input type="checkbox"/> 杭径の1/4かつ100mm以下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 評定等の評価内容による <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建て込み時の杭の鉛直度 <input type="checkbox"/> 1/100以内 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 評定等の評価内容による <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 記録する施工状況等 <input type="checkbox"/> 図示による () <input type="checkbox"/>		
29	砂利地業	(8.2.15) (8.28.4)
材料[G] <input type="checkbox"/> 再生グァッシュ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 切込砂利又は切込砕石 <input type="checkbox"/> 砂利厚さ <input checked="" type="checkbox"/> 60mm <input type="checkbox"/>		
30	捨てコンクリート地業	(8.2.15) (8.28.4)
捨てコンクリートの厚さ <input checked="" type="checkbox"/> 50mm <input type="checkbox"/> コンクリートの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 普通コンクリート <input type="checkbox"/> 設計基準強度 <input checked="" type="checkbox"/> 18N/mm ² <input type="checkbox"/> スラブ <input checked="" type="checkbox"/> 15cm又は18cm <input type="checkbox"/>		

11章	その他
1	残土処理について
建設発生土処分については沼津市指定処分とする。 処分受け入れ業者については下記業者より選定し、施工計画書に明記すること。 また、工事完了後に受入業者が交付する「建設発生土に関する完了届」を完成書類に添付し提出すること。 なお、公共事業における残土の工事間流用等疑義が生じた場合、別途監督職員と協議するものとする。	
建設発生土受入業者 ・木村土木株式会社 ・駿河開発株式会社 ・株式会社東土建 ・株式会社伊豆美化企画 ・有限会社A-LINE建設 ・渡辺ブルドーザー工事株式会社 ・株式会社加藤建材	
2	提出書類
適用範囲 1 現場代理人通知書 <input type="checkbox"/> 工事契約時に提出 2 予定工程表 <input type="checkbox"/> 3 請負代金内訳書 <input type="checkbox"/> 工事契約締結後、10日以内に提出 4 工事カルテに係る書類 <input type="checkbox"/> 5 施工体制台帳 <input type="checkbox"/> 6 施工計画書 <input type="checkbox"/> 7 再生資源利用計画書(計画書)、工程表含む <input type="checkbox"/> 決定しだい提出 8 主要材料発注承諾願 <input type="checkbox"/> 9 施工承諾書 <input type="checkbox"/> 10 工事工程月報(予定工程を黒、実施工程を朱書きで記入) <input type="checkbox"/> 毎月月末締め、翌月初め提出 11 完成届出書 <input type="checkbox"/> 12 完成写真帳(完成前後を左右にして確認できるよう整理) <input type="checkbox"/> 13 請負工事関係書類整備状況調査書 <input type="checkbox"/> 14 実施工程表(予定工程を黒、実施工程を朱書きで記入) <input type="checkbox"/> 15 工事記録簿 <input type="checkbox"/> 16 材料検査簿 <input type="checkbox"/> 17 工程写真帳 <input type="checkbox"/> 18 試験表 <input type="checkbox"/> 19 諸官庁手続きの写し <input type="checkbox"/> 20 再生資源利用計画書(実施書) <input type="checkbox"/> 21 産業廃棄物に関する書類(マニフェスト等) <input type="checkbox"/> ※原則、マニフェストは電子とする。 22 完成図 <input type="checkbox"/> 23 その他の書類 <input type="checkbox"/>	
12章	工事カルテ特記仕様書
工事カルテ特記仕様書 1 受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督職員の確認を受けたい。受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜、登録機関に登録しなければならない。登録対象は工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。 なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。 また、登録後は「登録内容確認書」の写しを直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。	
2 契約金額の変更登録は、完成時のみとする。	
3 契約変更により工事請負代金額が500万円未満になった場合は、速やかに契約変更前の工事登録を削除しなければならない。	
13章	重要事項